

こうほう ショッキング

Kōhō shocking

Vol,42

おき つ かず ひこ
沖津和彦さん



プロフィール

37歳。峰町佐賀出身、在住。対馬高校卒業後、九州産業大学へ進学。商店を経営している実家の職業とは違う職を経験したいと、福岡で社会生活を過ごし26歳で帰郷。9年前に酒の専門店「ぶちショップおきつ」を開店、店長に。趣味は音楽を良い音で聴くこと。趣味が高じてアンプやスピーカーも手作りするほどに。奥さまと二女の4人暮らし。

福岡ではいろんな職業を経験されたそうですね。

対馬に帰って実家の店をそのまま継いで、そのうち限界が来るだろうと考えていたのもあったので…。そこに、峰の集合店舗建設の話が持ち上がったので、出店するため帰ってくるようにと父から要請がありました。新しい店で、新しいやり方ができるなら何とかなるかもと思い帰郷しました。

店作りで心がけた点は？

酒の専門店としてやっていくには、個人商店では在庫する数や種類に限界があると思ったので、「ぶちショップ」というグループに加盟しました。現在、店頭で取り扱っている商品は約900種類。同じ規模の個人商店の倍くらいは品揃えができるのに加えて、グループの流通センターにある4000種類の商品が1本から仕入れることができるんです。お客様の「この珍しいウイスキーを1本欲しいんだけど」という要望にも応えることができるのが、うちの店のウリでもあります。信頼に繋がるものだと思います。

品揃えが豊富で、拝見するだけでも楽しくなりますね。

そう思っていたけると嬉しいですね。店作りでは「楽しさ」と「信頼」を柱にしています。今はインターネットでどんな珍しい酒でも手に入る。でも実店舗との違いは、お客様とじかに話ができる

こと。美味しいと思ったものは勧めやすいですから、試飲もしてみます。誰もが美味しいと思うものはそうはないと思いますが、自信を持って薦められる商品を見つけて、それをもとに店作りと接客を続けていきたいです。お客様に頼りにしてもらえらるお店になれるよう、僕たちも楽しみながら実現できたらと思います。

音楽を良い音で聴くのが趣味のことですが。

楽器の演奏の経験もあるので、向いてないなと途中でやめて（笑）。演奏するよりは、好きな音楽を聴く方に集中した方がいいなと。で、どうせ聴くなら良い音で聴きたいと思ったんです。良い音を探しているんならアンプを使っていううちに、真空管アンプにたどり着きました。プラモデルみたいに組み立てるキットが売ってあるんですが、使ってみると「これはいいね」と思ったんです。もともと機械いじりが好きだったので、その欲求も満たされるし、好きな音楽が良い音で聴けるし、一石二鳥でした（笑）。

ご家族一緒に音楽を聴いて楽しめるのですか？

現在の生活は家族、子どもが中心なので、自宅ではあまり聴く時間がありません。店も、家族との時間を取るために閉店時間を19時に早めました。結構迷いましたが家族と過ごす時間というものはお

金に換えられるものではありませんよ。家族との時間、特にそのうち家を出ていく娘たちと過ごす時間は今しか味わえないものですので、大切にしていきたいと思っています。娘がピアノを習っていて、弾いて聞かせてくれたりもします。スピーカーからの音だけでなく、生の音も聴けるようになると思うと、嬉しいです。

趣味への欲求が高まった時は？

自然と朝早く目が覚めるので、音楽を聴いたりします。横で子どもたちが寝てますから、あまりボリュームは上げられませんが（笑）。何か作りたくなったら、仕事の合間を見て店のバックヤードで作ります。半ば作業部屋のように、道具でいっぱいですが（笑）。仕事ももちろん、趣味も消化できる仕事場は、自分にとって居心地の良い場所でもありますね。

最後に、夢は？

専用のオーディオ部屋が欲しい（笑）。作るなら家一軒建てるくらいのもりじゃないと厳しいでしょうし、子どもたちが家を出ていく頃にならないと、こもったりはできないでしょうね。後20年：僕が50歳過ぎてからの楽しみにしておきます。

毎回、登場してくださった方、次の方を、ご紹介いただきこのコーナー。次回は峰町佐賀にお住まいの海老名友好さんです。お楽しみに。